

熊本県における企業等の農業参入の状況

～平成24年度新規参入21件、常用雇用は302人にまで伸長～

平成21～24年度の参入件数は71件、うち平成24年度の新規参入は21件となりました。業種別では、飲食・食品関連業からの参入が8件と最も多く、地域的には県南への参入が5件あり、くまもと県南フードバレー構想につながる動きも含まれております。

また、既参入企業の中にも、圃場拡大や施設栽培の新規取組みなど、事業拡大を図る企業がありました。

	参入件数 (うち県外)	経営面積(ha)		耕作放棄地 解消面積(ha)	雇用者数(人)*	
		営農	作業受託		常用	常用以外
H21年度末	11 (3)	39.8	61.0	16.6	41	70
H22年度末	30 (7)	151.0	61.0	35.9	104	122
H23年度末	50 (11)	174.9	190.0	53.4	208	171
	+21	+69	+85	+12	+94	+122
H24年度末	71 (14)	244.1	275.0	65.7	302	393

*常用以外は、最盛期(又は農繁期)における常用以外雇用者数

【71件の内訳】※()内は平成24年度新規参入

業種別：飲食・食品関連業21(8)、建設業15(2)、農業機械・建設機械販売業6(3)、
卸売・小売業5(2)、製造業5(2)、JA3(0)、その他16(4)

参入地域の別：県北24(7)、県央17(6)、県南19(5)、天草11(3)

参入形態別：農業生産法人34(12)、一般法人35(9)、その他2(0)

企業の県内・県外別：県内57(18)、県外14(3)

【くまもと県南フードバレー構想につながる動き】

■ 食品卸売りや食品関連機器の販売等を行う(株)丸菱が氷川町及び五木村に参入。これまで北海道や海外に依存していた「夏イチゴ」を自社栽培することで、生産から加工・販売までの一貫体制を整備。また、首都圏でレストランを数多く手がける(株)フードワークスが相良村に参入し、ヤマトイモを栽培。新たに加工場設置に向けて始動。

【注目すべき参入事例】

- ① 既に参入済みの五木食品(株)、吉良食品(株)、(株)J&Jなどにつづき、平成24年度には、(株)丸美屋が山鹿市に参入し、大豆やにんにくを生産。熊本県内の有力な食品関連企業の参入が進んだ。
- ② JR九州グループが玉名市に次いで宇土市で参入。ネーブルなどの柑橘類を栽培。今後、同社が運行する観光列車での提供や、観光農園など、農業だけでなく観光開発まで視野に入れた事業展開を目指している。

記者レクのお知らせ

詳細については、本日13時30分から記者会見室において、担当課から記者レクを行います。

農林水産部経営局担い手・企業参入支援課

担当：枝國、大王 内線5447 TEL096-333-2377